

52. 三沢市における防災講演会

(学外対応分)

実施時期又は期間

平成24年8月10日

対応部局及び人員

理工学部及び教育学部の教員 2名

実施の背景・目的

東北地方太平洋沖地震およびそれに伴う津波の被害調査についての講演を行い、市民の防災意識を高めることを目的とする。

実施概要

片岡俊一「三沢市の地震動の特徴と地震動災害について」

小岩直人「三沢市の地形と東北地方太平洋沖地震津波」

と題して講演を実施し、市民との質疑応答を行った。

効果又は結果

三沢市の地形条件と津波の被害の関係について紹介を行い、どのような地形が危険であるのか、どのような対策をとるべきであるのかについて理解を深めることができた。

担当部局名

理工学部・教育学部



三沢市における防災講演会

防災講演会



入場
無料

粗品
進呈

日時
平成24年
8月10日(金)
午後6時～

会場
三沢市公会堂小ホール

※講演終了後、粗品をご用意いたしております。



地震に及ぼす地形の影響と
将来に向けての備え

主催 三沢市

◎講演タイトル

「三沢市の地形と 東北地方太平洋沖地震津波」

主な発表内容

- ・三沢市の地形の特徴
- ・海成段丘の形成過程
- ・今回の津波の特徴,三沢市での研究報告
- ・地形を活かした今後の減災・防災について



弘前大学教育学部教授 理学博士

小岩 直人氏

■プロフィール

1965年(昭和40年)岩手県水沢市(現奥州市)生まれ。
富士大学経済学部勤務の後、2001年から弘前大学に勤務。

〈これまでの研究〉

気候変化に伴う地形形成過程の解明
津軽平野の縄文時代以降の地形発達
タイ南西部における2004年インド洋大津波時の地形変化と
その後の修復過程
三沢市における四川目・五川目の津波の挙動と津波堆積物に
関する調査

◎講演タイトル

「三沢市の地震動の特徴と 地震動災害について」

主な発表内容

- ・過去の地震被害
- ・地震動増幅の実測例
- ・今回の震災の特徴
- ・想定される地震とその揺れの強さ



弘前大学大学院理工学研究科准教授 博士(工学)

片岡 俊一氏

■プロフィール

1960年(昭和35年)東京生まれ。
建設会社の研究組織に勤務の後、2001年から弘前大学に勤務。

〈これまでの研究〉

地震動と地盤との関係について
1923年関東地震の首都圏での揺れについて
長周期地震動について
三沢市内の各地の揺れやすさを調った地震動予測

東北の元気、
日本の元気を
青森から

青森県東日本大震災
復興基金事業